



議発

ウクライナからのロシア軍の 即時撤退と平和的解決を 求める決議可決

求める決議可決

提出者

南 千晴、清水健一、小野関治義、
善養寺孝、生方勇二、中島由美子、
波多野佐和子、三俣 実、須田仁美、
齊藤将史

提案理由

本村議会が平成7年に決議した核兵器廃絶
平和都市宣言の趣旨に鑑み、ロシア軍による攻撃やウクラ
イナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア軍の即時
撤退と政府に平和的解決を求めることを決議するため

特別委員会の設置

賛同得られず否決

《賛成1・反対9》

提出者 中島由美子

提案理由 村内バス並びに防災行政無線の村民利用最
適化を調査検討する特別委員会の設置

討 論

反対 生方勇二議員

**まずは常任委員会で
議論すべき**

村内バスは、過去に試
験運転を実施し、その結
果、特定の利用に偏り、
効果が期待できなかった
経緯があります。それら
を踏まえ、現在は福祉タ

クシー券等で対応してい
ます。村も調査研究を重
ねていくと答弁していま
す。防災行政無線は、技
術的な改善要素が多く、
こちらも調査研究中で
す。このことから特別委
員会の設置は、提出者も
所属の総務産業建設常任
委員会で議論の上、必要
の可否を判断すべきであ
ると考え反対します。

ウクライナからのロシア軍の即時撤退と 平和的解決を求める決議（要約）

ロシアが隣国ウクライナへの軍事侵攻を開始したこ
とは、明らかに国連憲章及び人類の平和理念に違反し、
断じて容認できない。たとえいかなる理由があろうと
も軍事力を持って紛争を解決しようとするのは、民
主的な言論を通じて多様な価値観の融和を図り、市民
社会の健全な発展を目指す議会人として、決して看過
できない。

よって、榛東村議会は、ロシア軍による攻撃やウク
ライナの主権侵害に強く抗議するとともに、世界の恒
久平和の実現に向け、ロシア軍が一日も早くウクラ
イナから完全かつ無条件で撤退することを
求める。併せて、政府にあっては、邦人
の安全確保はもとより、国際社会と緊密
に連携し、事態の平和的手段による早期
解決に向けた対応をされるよう求める。

